

## 令和 1・2 年度複合構造委員会 第 7 回幹事会 議事録

日 時：令和 2 年 6 月 3 日（水）14:00～15:45

場 所：WEB会議

出席者：下村委員長，松本(高)副委員長，大久保幹事長，大山幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，牧幹事，溝江幹事，皆田幹事，岡崎事務局

### 配布資料：

- 幹 7-0 令和 1・2 年度複合構造委員会第 7 回幹事会議事次第（案）
- 幹 7-1 令和 1・2 年度複合構造委員会第 6 回幹事会議事録（案）
- 幹 7-2-1 令和 1・2 年度複合構造委員会幹事会名簿，業務分担
- 幹 7-2-2 令和 1・2 年度複合構造委員会組織図
- 幹 7-2-3 令和 1・2 年度複合構造委員会小委員会作業分担
- 幹 7-3 令和 1・2 年度複合構造委員会スケジュール
- 幹 7-4 令和元年度委員会決算
- 幹 7-5 令和 2 年度委員会予算（案）
- 幹 7-6-1 令和元年度委員会活動度個別調査書（複合構造委員会）
- 幹 7-6-2 令和元年度評価結果報告文（複合構造委員会）
- 幹 7-6-3 調査研究委員会の活動度評価要領
- 幹 7-6-4 委員会の継続設置要領
- 幹 7-7 第 75 回全国大会プログラムについて
- 幹 7-8-1 第 75 回全国大会研究討論会企画について
- 幹 7-8-2 第 75 回全国大会研究討論会の開催方針
- 幹 7-9-1 第 8 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム準備状況
- 幹 7-9-2 第 8 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム行事計画書
- 幹 7-10-1 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 幹 7-10-2 執筆猶予のお願い(令和 2 年 3 月 23 日)
- 幹 7-11 複合構造の継続教育
- 幹 7-12 出版関連報告
- 幹 7-13 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 7-14 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹 7-15 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹 7-16 H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会
- 幹 7-17 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 幹 7-18 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹 7-19 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹 7-20 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹 7-21 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

- 幹 7-22      H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会  
幹 7-23      H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会  
幹 7-24      令和1・2年度複合構造委員会第3回委員会議事次第（案）

## 議事内容：

### 1. 委員長挨拶

第7回幹事会の開会にあたり、下村委員長より挨拶がなされた。

### 2. 複合構造委員会第6回幹事会議事録案確認（幹7-1）

下記の修正を行うことで議事録の了承がなされた。

- ・ P3 12. 3行目 「(H151)複合構造物の…調査研究委員会幹」→「幹」削除
- ・ P4 12. 1行目 「(H152)プレハブ…調査研究委員会幹」→「幹」削除
- ・ P4 12. 3行目 「1期の活動期間の…」→「1期の」削除
- ・ 議事録の最後に議事録作成担当の名前を記入する。

### 3. 令和2年度複合構造委員会幹事会体制確認（幹7-2-1, 幹7-2-2, 幹7-2-3）

大久保幹事長より、事前に収集した幹事からの意見の報告があり、以下のことを確認した。

- ・ 年次講演会WG主査：大山幹事，委員：齋藤(隆)幹事 に修正（幹7-2-3）。
- ・ 複合構造の継続教育小委員会(H006)に内藤先生を追加（幹7-2-3）。

### 4. 令和2年度複合構造委員会スケジュール確認（幹7-3, 幹7-24）

大久保幹事長より、事前に収集した幹事からの意見の報告があり、以下のことを確認した。

#### 1) 第3回委員会について

- ・ オンラインで開催する方向で準備する。
- ・ 日程は7月中旬から8月初旬で後日調整する。
- ・ オンラインで参加できない委員に対応するため、土木学会会議室を会場として用意する。
- ・ 事前に議事と資料を配信する。
- ・ 小委員会活動終了報告については、H151は実施、H214は次回実施する。
- ・ 土木学会会議室に用意できるPCとモニターは各1台なので共用となる。

#### 2) 次回幹事会について

- ・ 7月16日の第8回幹事会は中止とする。次回幹事会までに審議事項があればメール審議とする。
- ・ 9月10日の第9回幹事会を第8回幹事会とする。会場は名古屋から東京に変更する。日程は年次WEB発表会と重なる可能性があるため、後日調整する。

### 5. 令和元年度委員会決算と令和2年度予算案（幹7-4, 幹7-5）

大久保幹事長より、事前に収集した幹事からの意見の報告があり、以下のことを確認した。

- ・ 4月1日付の執行額まで令和元年度で予算処理されている（幹7-4）。
- ・ H151, H214, H217の予算は削除。H220の予算は必要（幹7-5）。
- ・ 中止する行事があれば土木学会に連絡のこと。

6. 令和元年度委員会活動度評価結果について（幹7-6-1, 幹7-6-2, 幹7-6-3）

大久保幹事長より、事前に収集した幹事からの意見の報告があり、以下のことを確認した。

- ・今年度の講習会等をWEB開催とした場合の評価方法は、未だ決定していない。
- ・WEB開催も通常の講習会と同様に評価してほしいとの意見があった。

7. 令和2年度第75回全国大会・プログラム（幹7-7）

大山幹事より資料に基づき報告があり、以下のことを確認した。

- ・昨年と同様に投稿数が少ない（22件）。
- ・各小委員会で投稿いただくように周知すること。

8. 令和2年度第75回全国大会・研究討論会（幹7-8-1, 幹7-8-2）

川端幹事より資料に基づき報告があり、以下のことを確認した。

- ・録画形式で実施する。録画は講堂で行う。
- ・録画形式でパネリストの合意が得られれば、撮影日を調整する。
- ・録画した映像の編集で費用が発生する場合は審議事項とする。

9. 第8回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（幹7-9-1, 幹7-9-2）

仁平幹事より資料に基づき報告があり、以下のことを確認した。

- ・開催方法と開催場所（金沢、東京）については、論文投稿の締め切り時期（8月中旬）に最終決定する。
- ・論文投稿者には決定事項を直接連絡するとともに、ホームページに掲載して周知する。

10. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（幹7-10-1, 幹7-10-2）

橋本幹事より資料に基づき報告があった。

- ・杉浦先生より展望論文執筆の1年猶予の願いがあった。

11. 複合構造の継続教育（幹7-11）

溝江幹事より資料に基づき報告があり、以下のことを確認した。

- ・今年度は講演形式セミナーを開催予定。講師は北大の横田先生と広大の藤井先生に依頼済み。
- ・講義形式セミナーは2021年度以降に実施する計画（資料の2020年度は誤り）。
- ・e-ラーニングの対象者は若手技術者とする事で調整中。

12. 出版関係報告（幹7-12）

平幹事より資料に基づき報告があり、以下のことを確認した。

- ・今年度は2つの書籍（H216, H217）を出版予定。
- ・複合構造レポート15（複合構造物の防水・排水技術）の出版数が6部となっているが、丸善100部が未計上となっているのはタイムラグがあるためと思われる。

13. 小委員会報告審議事項（幹7-13～23）

大久保幹事長より、事前に収集した幹事からの意見の報告があり、以下のことを確認した。

- ・ H215の第2期は「2019.8～2021.8」， H218は「2017.7～2020.3」 H220は「2020.6～2022.5」に修正（幹7-13）．
- ・ 中村先生の所属を「東京都立大学」に修正（幹7-14， 幹7-21， 幹7-23）．
- ・ H151の小委員会報告書は幹事会に配信する（幹7-15）．

#### (H217) コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（幹7-20）

平幹事より資料に基づき報告があり，以下のことを確認した．

- ・ 講習会対応として，委嘱状を延長して発行する．任期を確認して事務局に連絡する．
- ・ 講習会の開催時期は，他の小委員会の動向をみて設定する．
- ・ 講習会前に書籍が出版される可能性もあるので，出版時期を確認する．

#### (H218) FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（幹7-21）

橋本幹事より資料に基づき報告があり，以下のことを確認した．

- ・ 3月に予定していた講習会は延期となっているが，新しい日程が決まっていない．
- ・ 小委員会で日程調整して幹事会に連絡のこと．

#### 14. その他

WEBでの講習会開催にあたって，以下の質疑があった．

（質問）講習会を講堂で行いつつWEBで同時配信する場合、WEBでの聴講は有料か？

（回答）講堂等での受講とWEBでの受講は同額となる．

（質問）WEBでは1件の申し込みで複数人が受講できてしまうのではないか？

（回答）課題であり制限する方法について検討中である．

（意見）Zoomであればホスト側でアクセスの制限をかけることができる．

（意見）WEBで申し込み者数以上の受講（アクセス）があった場合，受講者数にカウントして評価してほしい．

#### 15. 副委員長挨拶

松本副委員長より，閉会の挨拶があった．

以 上  
（記録：皆田）